

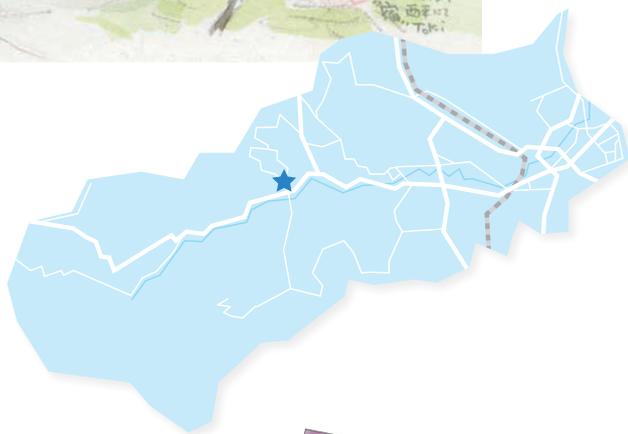


宿（大字西平地内）

「宿」の信号を慈光寺に向かって登り、道がY字に分かれる女人堂のあたりで振り返ると、このような景色が見える。1,300年以上をさかのぼる慈光寺開山当時。

源頼朝の祈願所となり、隆盛を極めた鎌倉時代。

ここはどんな様子で、人々はどんなふうに行き交っていたのだろう。「宿」というくらいだから、宿泊施設が立ち並んでいたのだろうか。などと思いを巡らせながら描いた令和時代の「宿」。



【編集後記】 出会いと別れの季節。この時期は不安とともに新生活に期待を膨らませている方も多いはず。新社会人の中には働いた対価として、初めてお金を稼ぐ方もいるだろう。同じ部署の新人君に初任給を何に使ったのか尋ねると、両親へ感謝の意を込めて都内でコースランチをご馳走したとのこと。かっこよすぎるぞ新人君。私は初任給で両親へ100円のシュークリームをプレゼントし家から追い出されている。新人君を見習い、今度は最高級品エクレア（200円）を両親へプレゼントしようと思う。【笠原】

